

い一方、食事の際のしつけなど、より「伝統的な」(子どもやマナーに関する「伝統」自体が、近代的なものであるが)項目では選択率が高くなっている。「知性×積極」グループは、いろいろな配慮をし、子どもにはよく体を動かすことを望んでいる。「感性×調整」グループは、衛生面や健康面に配慮し、家族とのコミュニケーションを重視している。この2つの傾向を併せ持ち、子どもに対して特に配慮をしているのは「感性×積極」グループである。上記の「伝統的」な項目を除いたほとんどすべての項目で、高い選択率を示している。また、このグループは「好きな遊びをさせる」「子どもが好きなものを食べさせる」といった子どもの自発的な嗜好を優先する志向性も強い。

教育行動では、「知性×調整」は、いわゆる家事手伝いを重視し、習い事には、「そろばん」を除けば、他のグループに比べて積極的ではない。「知性×積極」は、お手伝いは他のグループに比べて熱心ではなく、知育系を中心に、習い事に比較的熱心である。「感性×積極」は、家事手伝いには比較的熱心ではないが、コミュニケーションや情緒に関するお手伝いは積極的にさせている。情操系の習い事を中心に、習い事にも比較的熱心である。「感性×調整」は、お手伝いはどのタイプのものも比較的させている。習い事は「知性×調整」グループよりはやらせている。

これらの結果は、各グループは、厳格主義、業績主義、児童中心主義、童心主義というラベルを見事に反映したような、育児方針と教育行動をとっているということの意味していた。(もちろん、全体的な回答傾向はグループごとに大きな差異はなく、このような傾向は、わずかな選択率の高低の違いにすぎないことにも注意が必要である。)

以上が過去2年間の報告書の分析であるが、対象児が就学前にあたる第6回調査までも、まだ分析すべき項目はいくつもある。そこで、本報告書では、第一に、しかり方や育児方針、教育行動の分析を補うものとして、父母の子へのコミュニケーションとしつけ、テレビの見方への関わり方について分析し、子ども観の分析に厚みを加えることを試みる(2)。これらにより、前年度の分析を補い、子ども観の子育てへの影響をより深く検証する。ついで、第二に、しつけや育児方針、教育行動の結果、子どもがどのように育っているかを見るために、しつけの習得、テレビやゲームの時間、睡眠時間、基本的な生活習慣、遊び、子の父母へのコミュニケーション、情動面や社会性の発達に関する項目の分析を行う(3)。それにより、子ども観の効果をより多角的に描き出す。最後に、視角を変えて、補論として、子ども観の規定要因の分析を補うものとして、子ども観に子ども自身の性格や発達がどう関係しているかを考える(4)。

なお、前回の報告書同様、子ども観を尋ねた第3回より前の調査の項目に関しては、第3回調査で子ども観に関する設問(問14)に答えたケースのみの分析となる。

2.子ども観と教育行動

2.1 しつけの状況

まず、しつけの状況と父母の子へのコミュニケーション、テレビの見方への関わり方についての回答傾向を子ども観グループごとに確認し、元森(2009)のしかり方と育児方針、教育行動の分析と合わせて、子ども観の子育ての方針や行動への影響の全体像を確認する。

はじめに、第4回問14「平成13年1/7月生まれのお子さんのしつけ状況をおたずねします。以下の①～③の各項目のすべてについて『しつけの状況』『お子さんの状態』別にそれぞれあてはまる番号ひとつに○をつけてください」の回答のうち、前者の「しつけの状況」を示したのが、表3である。「お子さんの状態」は3で分析する。)ここでは、過去にしつけをした場合(挫折した場合もありえるが、基本的には身につけてしつけを終えたということであろう)と現在しつけ中のものをあわせた値を示してある。

全体的に、「調整」派がしつけには熱心である。「知性×調整」と「感性×調整」双方が熱心なのは、「挨拶や返事などをする」「うそをつかない」「おもちゃや絵本をこわさない」「人のものと自分のものを区別する」「人に乱暴しない」など、他人に関わる事柄に関するしつけである。また、「知性×調整」のみが熱心なのは、「食事の後自分の食器を台所に運ぶ」「人の話は最後まで聞く」という伝統的なしつけと、「知らない人にはついて行かない」であり、「感性×調整」のみが熱心なのは、「遊具で遊ぶときに順番を守る」「公共の場(バス・電車、病院等)では騒がない」といった他人に迷惑にならないようにというしつけと、「道路に出るときは必ず左右を見る」である。

「積極」派、とりわけ「感性×積極」は、他のグループに比べてここであげられているようなしつけには熱心ではない。都会で生きるスキルである「知らない人にはついて行かない」なども、値が低いのは不思議である。

もちろんわずかな値の差ではあるが、児童中心主義的な子ども像を持っており、コミュニケーションを重視したしつけを行うグループが、実際のしつけ行動では後手に回っているのは興味深い。

表3 子ども観としつけの状況

	挨拶や返事 などをする	食事の後自 分の食器を 台所に運ぶ	人の話は最 後まで聞く	うそをつか ない	遊具で遊ぶ ときに順番を 守る	テレビやコン ピュータゲー ムをする時間 は決めている	おもちゃや絵 本をこわさな い	合計
知性×調整	10,539 97.9%	6,002 55.8%	8,075 75.0%	8,174 75.9%	10,300 95.7%	5,382 50.0%	9,781 90.9%	10,764 100.0%
知性×積極	8,822 96.4%	4,733 51.7%	6,523 71.3%	6,466 70.7%	8,652 94.5%	4,542 49.6%	8,113 88.7%	9,151 100.0%
感性×積極	9,861 96.4%	4,959 48.5%	6,863 67.1%	6,882 67.2%	9,728 95.1%	5,017 49.0%	9,017 88.1%	10,234 100.0%
感性×調整	10,243 97.9%	5,396 51.6%	7,361 70.3%	7,689 73.5%	10,079 96.3%	5,235 50.0%	9,543 91.2%	10,466 100.0%
合計	39,465 97.2%	21,090 51.9%	28,822 71.0%	29,211 71.9%	38,759 95.4%	20,176 49.7%	36,454 89.8%	40,615 100.0%

(つづき)

	遊んだ後の片づけをする	人のものと自分のものを区別する	人に乱暴しない	道路に出るときは必ず左右を見る	知らない人にはついて行かない	公共の場(バス・電車、病院等)では騒がない	合計
知性×調整	10,572 98.2%	9,341 86.8%	10,135 94.2%	9,651 89.7%	8,604 79.9%	10,347 96.1%	10,764 100.0%
知性×積極	8,923 97.5%	7,741 84.6%	8,439 92.2%	8,132 88.9%	7,018 76.7%	8,720 95.3%	9,151 100.0%
感性×積極	10,025 98.0%	8,455 82.6%	9,446 92.3%	9,140 89.3%	7,623 74.5%	9,813 95.9%	10,234 100.0%
感性×調整	10,331 98.7%	8,964 85.6%	9,928 94.9%	9,492 90.7%	8,166 78.0%	10,110 96.6%	10,466 100.0%
合計	39,851 98.1%	34,501 84.9%	37,948 93.4%	36,415 89.7%	31,411 77.3%	38,990 96.0%	40,615 100.0%

※「しつけをした(今はしていない)」と「しつけをしている」の合計

※クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

2.2 父母の子へのコミュニケーション

次に、そのコミュニケーションに関する項目を見てみる。まず、参考のために、第2回問14「平成13年1/7月生まれのお子さんと遊んだり、食事をしたりして一緒に過ごす時間は、通常1日平均どのくらいですか」の回答傾向を見る(表4)。

母親に関しては、1歳半の時点なので休職中のケースも多く、「6時間以上」が平日でも4分の3近く、休日では9割以上を占めるが、子ども観グループごとに若干の差異は見られる。①お母さん・平日では、「感性×調整」が「6時間以上」の長め、「知性×積極」が「1～2時間未満」や「2～4時間未満」の短めを多く選択する傾向がある。「感性×積極」も、「4～6時間未満」が多くやや長めと言えよう。②お母さん・休日も、「感性×調整」が「6時間以上」の長め、「知性×積極」が「1～2時間未満」の短めを多く選択する傾向がある。

父親に関しては、③お父さん・平日は就業形態などに左右されると考えられるが、全体としては「1～2時間未満」と「2～4時間未満」に半数が集中している。その中でも、「感性×調整」は、「2～4時間未満」が多めで「30～60分未満」が少なめなど、長く取ろうとしていることが伺え、「知性×積極」は、「なし」の率が高いなど、短い傾向がある。「感性×積極」も、「30分未満」が多めと短いと言えよう。「知性×積極」は、「6時間以上」の率が高いが、これは父親の就業形態などの検討が必要である。④お父さん・休日は、全体で「6時間以上」が3分の2と子どもと過ごす時間をとろうという傾向がうかがえるが、中でも、「感性×調整」と「感性×積極」が「6時間以上」が多く、前者はさらに、「なし」「30分未満」「1～2時間未満」が少ないなど、長い傾向が見られる。逆に「知性×積極」は、「30分未満」「30～60分未満」が多く「6時間以上」が少ない、「知性×調整」も、「6時間以上」が少なく「なし」「1～2時間未満」が多いなど、短い傾向が見られる。

表4 子ども観と子どもと一緒に過ごす時間

①お母さん・平日

p=0.000

	なし	30分未満	30～60分 未満	1～2時間 未満	2～4時間 未満	4～6時間 未満	6時間以上	不詳	合計
知性×調整	7 0.1%	18 0.2%	67 0.6%	160 1.5%	923 8.4%	1,290 11.7%	8,267 75.0%	293 2.7%	11,025 100.0%
知性×積極	4 0.0%	24 0.3%	70 0.7%	158 1.7%	888 9.5%	1,127 12.0%	6,809 72.6%	296 3.2%	9,376 100.0%
感性×積極	3 0.0%	20 0.2%	55 0.5%	151 1.4%	923 8.8%	1,305 12.4%	7,761 73.9%	279 2.7%	10,497 100.0%
感性×調整	5 0.0%	14 0.1%	41 0.4%	154 1.4%	921 8.6%	1,181 11.0%	8,109 75.8%	279 2.6%	10,704 100.0%
合計	19 0.0%	76 0.2%	233 0.6%	623 1.5%	3,655 8.8%	4,903 11.8%	30,946 74.4%	1,147 2.8%	41,602 100.0%

②お母さん・休日

p=0.001

	なし	30分未満	30～60分 未満	1～2時間 未満	2～4時間 未満	4～6時間 未満	6時間以上	不詳	合計
知性×調整	6 0.1%	4 0.0%	26 0.2%	57 0.5%	216 2.0%	458 4.2%	9,938 90.1%	320 2.9%	11,025 100.0%
知性×積極	6 0.1%	8 0.1%	21 0.2%	76 0.8%	188 2.0%	388 4.1%	8,365 89.2%	324 3.5%	9,376 100.0%
感性×積極	8 0.1%	7 0.1%	20 0.2%	50 0.5%	182 1.7%	403 3.8%	9,521 90.7%	306 2.9%	10,497 100.0%
感性×調整	4 0.0%	3 0.0%	15 0.1%	41 0.4%	188 1.8%	394 3.7%	9,763 91.2%	296 2.8%	10,704 100.0%
合計	24 0.1%	22 0.1%	82 0.2%	224 0.5%	774 1.9%	1,643 3.9%	37,587 90.3%	1,246 3.0%	41,602 100.0%

③お父さん・平日

p=0.000

	なし	30分未満	30～60分 未満	1～2時間 未満	2～4時間 未満	4～6時間 未満	6時間以上	不詳	合計
知性×調整	577 5.4%	1,016 9.4%	1,316 12.2%	2,262 21.0%	3,606 33.5%	1,389 12.9%	265 2.5%	343 3.2%	10,774 100.0%
知性×積極	544 6.0%	993 10.9%	1,165 12.8%	1,940 21.3%	2,875 31.5%	1,062 11.7%	214 2.3%	321 3.5%	9,114 100.0%
感性×積極	528 5.1%	1,135 11.0%	1,336 13.0%	2,178 21.2%	3,384 32.9%	1,187 11.5%	203 2.0%	331 3.2%	10,282 100.0%
感性×調整	590 5.6%	1,074 10.3%	1,247 11.9%	2,183 20.9%	3,570 34.1%	1,269 12.1%	211 2.0%	321 3.1%	10,465 100.0%
合計	2,239 5.5%	4,218 10.4%	5,064 12.5%	8,563 21.1%	13,435 33.1%	4,907 12.1%	893 2.2%	1,316 3.2%	40,635 100.0%

④お父さん・休日

p=0.000

	なし	30分未満	30～60分 未満	1～2時間 未満	2～4時間 未満	4～6時間 未満	6時間以上	不詳	合計
知性×調整	48 0.4%	101 0.9%	177 1.6%	443 4.1%	994 9.2%	1,636 15.2%	6,993 64.9%	382 3.5%	10,774 100.0%
知性×積極	37 0.4%	91 1.0%	173 1.9%	364 4.0%	851 9.3%	1,246 13.7%	5,994 65.8%	358 3.9%	9,114 100.0%
感性×積極	27 0.3%	73 0.7%	158 1.5%	354 3.4%	880 8.6%	1,382 13.4%	7,036 68.4%	372 3.6%	10,282 100.0%
感性×調整	25 0.2%	64 0.6%	155 1.5%	344 3.3%	907 8.7%	1,453 13.9%	7,160 68.4%	357 3.4%	10,465 100.0%
合計	137 0.3%	329 0.8%	663 1.6%	1,505 3.7%	3,632 8.9%	5,717 14.1%	27,183 66.9%	1,469 3.6%	40,635 100.0%

※すべてクロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

父母とも、「感性」派、特に「感性×調整」グループが子どもと長く接しており、「知性」派、とりわけ「知性×積極」グループが接する時間が短い傾向があるようである。

次に、第6回問20・23「お母さん・お父さんは、平成13年1/7月生まれのお子さんとのように接していますか」の回答傾向を示したのが、表5である。「できるだけするようにしている」と「よくしている」で傾向が相殺される場合を除いて、特徴的なことをあげていけば、次のようになる。

「①子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ」では、「知性×積極」が父母で「していない」の割合が高く、「感性×調整」が、父親で「よくしている」割合が高い。また、「知性×調整」は、父母とも「できるだけするようにしている」が多く、健闘している。

「②子どもと一緒に体を動かす遊びをする」は、父母とも、「感性」派で「よくしている」や「できるだけするようにしている」が高く、「知性」派で「していない」が多い。

「③子どもと一緒に風呂に入る」は、「知性×積極」が、母親で「よくしている」割合が低く、父親で「していない」が高いなど、やや接触が密な傾向がある。「感性×調整」は母親で「よくしている」が多く、「感性×積極」は父親で「できるだけするようにしている」が多い。また、「知性×調整」は、母親で「できるだけするようにしている」、父親で「よくしている」が多い。

「④本や絵本を読み聞かせる」は、他の項目と傾向が異なっている。「感性×積極」が父母で「よくしている」が多く熱心であるが、「知性×積極」も母親で「よくしている」が多くなっている。「知性×調整」は、父母で「よくしている」が少なく、母親で「していない」が多いなど全体では接触が少ない。

「⑤積極的に子どもに話しかける」は、「感性×積極」で父母とも「よくしている」が多く、コミュニケーションが密と言える。

「⑥子どもと一緒に食事をする」も、やや特異な項目である。「知性×積極」で父母とも「よくしている」が多く、「感性×積極」の母親も「よくしている」が多い。

「⑦膝に乗せるなどスキンシップをはかる」は、「知性」派の父親で「していない」が多く、「感性×積極」の母親で「よくしている」が多くなっている。

「⑧子どもをほめる」は、父母とも、「知性×積極」で「していない」が多く、「感性×積極」で「よくしている」が多くなっている。

以上の傾向をまとめれば、「感性」派の方が子どもとの接触が多く、「知性」派のほうが接触が少ないと言える。これは、先に述べた1歳半の時点での子どもと過ごす時間の傾向とも一致している。

表5 子ども観と子どもとどのように接しているか

①子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ

	お母さん p=0.004					お父さん p=0.023				
	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計
知性×調整	1,434 14.4%	6,726 67.4%	1,666 16.7%	159 1.6%	9,985 100.0%	1,638 17.4%	5,271 55.8%	2,332 24.7%	197 2.1%	9,438 100.0%
知性×積極	1,273 15.0%	5,484 64.7%	1,568 18.5%	155 1.8%	8,480 100.0%	1,436 17.9%	4,313 53.8%	2,097 26.2%	172 2.1%	8,018 100.0%
感性×積極	1,423 14.9%	6,297 65.8%	1,684 17.6%	159 1.7%	9,563 100.0%	1,664 18.3%	5,018 55.2%	2,209 24.3%	193 2.1%	9,084 100.0%
感性×調整	1,443 14.8%	6,525 67.0%	1,642 16.9%	134 1.4%	9,744 100.0%	1,743 18.9%	5,067 54.9%	2,252 24.4%	173 1.9%	9,235 100.0%
合計	5,573 14.8%	25,032 66.3%	6,560 17.4%	607 1.6%	37,772 100.0%	6,481 18.1%	19,669 55.0%	8,890 24.8%	735 2.1%	35,775 100.0%

②子どもと一緒に体を動かす遊びをする

	お母さん p=0.000					お父さん p=0.000				
	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計
知性×調整	1,164 11.7%	6,249 62.6%	2,415 24.2%	157 1.6%	9,985 100.0%	2,475 26.2%	5,063 53.6%	1,720 18.2%	180 1.9%	9,438 100.0%
知性×積極	1,101 13.0%	5,161 60.9%	2,067 24.4%	151 1.8%	8,480 100.0%	2,181 27.2%	4,197 52.3%	1,477 18.4%	163 2.0%	8,018 100.0%
感性×積極	1,284 13.4%	6,015 62.9%	2,102 22.0%	162 1.7%	9,563 100.0%	2,692 29.6%	4,766 52.5%	1,461 16.1%	165 1.8%	9,084 100.0%
感性×調整	1,177 12.1%	6,179 63.4%	2,251 23.1%	137 1.4%	9,744 100.0%	2,680 29.0%	4,913 53.2%	1,487 16.1%	155 1.7%	9,235 100.0%
合計	4,726 12.5%	23,604 62.5%	8,835 23.4%	607 1.6%	37,772 100.0%	10,028 28.0%	18,939 52.9%	6,145 17.2%	663 1.9%	35,775 100.0%

③子どもと一緒に風呂に入る

	お母さん p=0.003					お父さん p=0.001				
	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計
知性×調整	7,093 71.0%	1,893 19.0%	873 8.7%	126 1.3%	9,985 100.0%	3,434 36.4%	4,481 47.5%	1,356 14.4%	167 1.8%	9,438 100.0%
知性×積極	5,983 70.6%	1,599 18.9%	773 9.1%	125 1.5%	8,480 100.0%	2,787 34.8%	3,865 48.2%	1,204 15.0%	162 2.0%	8,018 100.0%
感性×積極	6,926 72.4%	1,694 17.7%	809 8.5%	134 1.4%	9,563 100.0%	3,199 35.2%	4,528 49.8%	1,189 13.1%	168 1.8%	9,084 100.0%
感性×調整	7,131 73.2%	1,713 17.6%	792 8.1%	108 1.1%	9,744 100.0%	3,272 35.4%	4,557 49.3%	1,260 13.6%	146 1.6%	9,235 100.0%
合計	27,133 71.8%	6,899 18.3%	3,247 8.6%	493 1.3%	37,772 100.0%	12,692 35.5%	17,431 48.7%	5,009 14.0%	643 1.8%	35,775 100.0%

④本や絵本の読み聞かせをする

	お母さん p=0.000					お父さん p=0.004				
	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようになっている	していない	無回答	合計
知性×調整	3,029 30.3%	5,422 54.3%	1,387 13.9%	147 1.5%	9,985 100.0%	712 7.5%	3,430 36.3%	5,100 54.0%	196 2.1%	9,438 100.0%
知性×積極	3,003 35.4%	4,256 50.2%	1,087 12.8%	134 1.6%	8,480 100.0%	628 7.8%	2,936 36.6%	4,272 53.3%	182 2.3%	8,018 100.0%
感性×積極	3,651 38.2%	4,686 49.0%	1,077 11.3%	149 1.6%	9,563 100.0%	815 9.0%	3,388 37.3%	4,701 51.8%	180 2.0%	9,084 100.0%
感性×調整	3,293 33.8%	5,079 52.1%	1,257 12.9%	115 1.2%	9,744 100.0%	769 8.3%	3,324 36.0%	4,968 53.8%	174 1.9%	9,235 100.0%
合計	12,976 34.4%	19,443 51.5%	4,808 12.7%	545 1.4%	37,772 100.0%	2,924 8.2%	13,078 36.6%	19,041 53.2%	732 2.0%	35,775 100.0%

※すべてクロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

(表5のつづき)

⑤積極的に子どもに話しかける

	お母さん p=0.003					お父さん p=0.000				
	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計
知性×調整	7,303 73.1%	2,428 24.3%	113 1.1%	141 1.4%	9,985 100.0%	4,706 49.9%	3,933 41.7%	616 6.5%	183 1.9%	9,438 100.0%
知性×積極	6,078 71.7%	2,152 25.4%	117 1.4%	133 1.6%	8,480 100.0%	4,018 50.1%	3,222 40.2%	609 7.6%	169 2.1%	8,018 100.0%
感性×積極	7,113 74.4%	2,190 22.9%	115 1.2%	145 1.5%	9,563 100.0%	4,755 52.3%	3,610 39.7%	554 6.1%	165 1.8%	9,084 100.0%
感性×調整	7,187 73.8%	2,324 23.9%	117 1.2%	116 1.2%	9,744 100.0%	4,766 51.6%	3,750 40.6%	560 6.1%	159 1.7%	9,235 100.0%
合計	27,681 73.3%	9,094 24.1%	462 1.2%	535 1.4%	37,772 100.0%	18,245 51.0%	14,515 40.6%	2,339 6.5%	676 1.9%	35,775 100.0%

⑥子どもと一緒に食事をする

	お母さん p=0.000					お父さん p=0.001				
	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計
知性×調整	8,957 89.7%	848 8.5%	58 0.6%	122 1.2%	9,985 100.0%	3,620 38.4%	4,848 51.4%	804 8.5%	166 1.8%	9,438 100.0%
知性×積極	7,452 87.9%	849 10.0%	50 0.6%	129 1.5%	8,480 100.0%	2,922 36.4%	4,136 51.6%	799 10.0%	161 2.0%	8,018 100.0%
感性×積極	8,496 88.8%	888 9.3%	53 0.6%	126 1.3%	9,563 100.0%	3,269 36.0%	4,855 53.4%	792 8.7%	168 1.8%	9,084 100.0%
感性×調整	8,733 89.6%	880 9.0%	35 0.4%	96 1.0%	9,744 100.0%	3,383 36.6%	4,883 52.9%	816 8.8%	153 1.7%	9,235 100.0%
合計	33,638 89.1%	3,465 9.2%	196 0.5%	473 1.3%	37,772 100.0%	13,194 36.9%	18,722 52.3%	3,211 9.0%	648 1.8%	35,775 100.0%

⑦膝に乗せるなどスキンシップをはかる

	お母さん p=0.000					お父さん p=0.001				
	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計
知性×調整	5,875 58.8%	3,545 35.5%	423 4.2%	142 1.4%	9,985 100.0%	4,255 45.1%	4,032 42.7%	978 10.4%	173 1.8%	9,438 100.0%
知性×積極	5,213 61.5%	2,770 32.7%	351 4.1%	146 1.7%	8,480 100.0%	3,623 45.2%	3,325 41.5%	904 11.3%	166 2.1%	8,018 100.0%
感性×積極	5,970 62.4%	3,110 32.5%	347 3.6%	136 1.4%	9,563 100.0%	4,186 46.1%	3,944 43.4%	778 8.6%	176 1.9%	9,084 100.0%
感性×調整	5,916 60.7%	3,354 34.4%	362 3.7%	112 1.1%	9,744 100.0%	4,240 45.9%	4,027 43.6%	806 8.7%	162 1.8%	9,235 100.0%
合計	22,974 60.8%	12,779 33.8%	1,483 3.9%	536 1.4%	37,772 100.0%	16,304 45.6%	15,328 42.8%	3,466 9.7%	677 1.9%	35,775 100.0%

⑧子どもをほめる

	お母さん p=0.000					お父さん p=0.001				
	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計	よくしている	できるだけするようにしている	していない	無回答	合計
知性×調整	5,328 53.4%	4,449 44.6%	81 0.8%	127 1.3%	9,985 100.0%	3,916 41.5%	4,697 49.8%	649 6.9%	176 1.9%	9,438 100.0%
知性×積極	4,565 53.8%	3,702 43.7%	85 1.0%	128 1.5%	8,480 100.0%	3,315 41.3%	3,935 49.1%	602 7.5%	166 2.1%	8,018 100.0%
感性×積極	5,308 55.5%	4,058 42.4%	69 0.7%	128 1.3%	9,563 100.0%	3,945 43.4%	4,411 48.6%	560 6.2%	168 1.8%	9,084 100.0%
感性×調整	5,233 53.7%	4,332 44.5%	75 0.8%	104 1.1%	9,744 100.0%	3,895 42.2%	4,635 50.2%	546 5.9%	159 1.7%	9,235 100.0%
合計	20,434 54.1%	16,541 43.8%	310 0.8%	487 1.3%	37,772 100.0%	15,071 42.1%	17,678 49.4%	2,357 6.6%	669 1.9%	35,775 100.0%

※すべてクロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

とりわけ、「感性×積極」グループは、①と③④の父を除けば、全体的に他のグループに比べて子どもとの接触が多い傾向が見られる。「感性×調整」は、「①子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ」(父)、「⑥子どもと一緒に食事をする」(母)、「②子どもと一緒に体を動かす遊びをする」といった、一緒に何かをする時間が長めと言える。「知性×調整」は「①子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ」のほか、お風呂(③)と食事(④)の時間を一緒に過ごすように気を配っており、育児方針などとも共通した傾向が見られる。最も接触到熱心でないのは、「知性×積極」グループである。「④本や絵本の読み聞かせをする」が多いことを除いて、①②③⑥と⑦の父で、他のグループと比べて子どもとの接触が少ない傾向が見られる。

2.3 テレビの見方への関わり方

最後に、第6回問8「平成13年1/7月生まれのお子さんのテレビの見方についてどのような関わり方をしていますか」という項目に関する回答傾向を見たのが表6である。

「①番組の内容によって見せないようにしていますか」と「②連続して長時間見せないようにしていますか」では、「知性×調整」の「していない」の率が高め、「感性×積極」の「している」の率が高めである。「⑤遅いときは何時くらいまで見ますか」では、「知性×積極」で「午後9時くらい」「午後10時くらい」が多く、「午後9時ぐらゐまで」が少ないなど、遅くまで見せる傾向が強く、「感性×積極」では「午後9時ぐらゐまで」と「見ていない・無回答」が多く、「知性×積極」も「見ていない・無回答」が多い。「知性×調整」はテレビを見せることに関して比較的ルーズで、「感性×積極」、ついで「知性×積極」は比較的配慮をしていると考えられる。

「③見ている番組について、お子さんと話をしますか」は「感性×調整」で「よく話す」が多く、「知性×積極」で「あまり話さない」が多い。コミュニケーションが多い「感性×積極」は特段の特徴を示していないが、ついで多い「感性×調整」がテレビについてもよく話し、コミュニケーションが淡白な「知性×積極」が話していない結果となっている。

「④どなたと見ることが多いですか」では、「調整」派が「大人と一緒に見ることが多い」が多く、「積極」派が「ひとり又は子どもだけで見ることが多い」が比較的多くなっている。

表6 子ども観とテレビの見方への関わり方

①番組の内容によって見せないようにしていますか

p=0.001

	している	していない	見ていない・無回答	合計
知性×調整	6,756 67.4%	3,142 31.3%	133 1.3%	10,031 100.0%
知性×積極	5,855 68.7%	2,555 30.0%	113 1.3%	8,523 100.0%
感性×積極	6,710 70.0%	2,746 28.7%	123 1.3%	9,579 100.0%
感性×調整	6,779 69.4%	2,891 29.6%	101 1.0%	9,771 100.0%
合計	26,100 68.9%	11,334 29.9%	470 1.2%	37,904 100.0%

②連続して長時間見せないようにしていますか

p=0.000

	している	していない	見ていない・無回答	合計
知性×調整	7,109 70.9%	2,827 28.2%	95 0.9%	10,031 100.0%
知性×積極	6,101 71.6%	2,325 27.3%	97 1.1%	8,523 100.0%
感性×積極	7,077 73.9%	2,422 25.3%	80 0.8%	9,579 100.0%
感性×調整	7,085 72.5%	2,623 26.8%	63 0.6%	9,771 100.0%
合計	27,372 72.2%	10,197 26.9%	335 0.9%	37,904 100.0%

③見ている番組について、お子さんと話をしますか

p=0.000

	よく話す	あまり話さない	見ていない・無回答	合計
知性×調整	7,591 75.7%	2,340 23.3%	100 1.0%	10,031 100.0%
知性×積極	6,247 73.3%	2,171 25.5%	105 1.2%	8,523 100.0%
感性×積極	7,256 75.7%	2,222 23.2%	101 1.1%	9,579 100.0%
感性×調整	7,510 76.9%	2,181 22.3%	80 0.8%	9,771 100.0%
合計	28,604 75.5%	8,914 23.5%	386 1.0%	37,904 100.0%

④どなたと見ることが多いですか

p=0.000

	大人と一緒に 見ることが多い	ひとり又は 子どもだけで 見ることが多い	見ていない・ 無回答	合計
知性×調整	6,147 61.3%	3,663 36.5%	221 2.2%	10,031 100.0%
知性×積極	4,963 58.2%	3,363 39.5%	197 2.3%	8,523 100.0%
感性×積極	5,576 58.2%	3,803 39.7%	200 2.1%	9,579 100.0%
感性×調整	6,002 61.4%	3,609 36.9%	160 1.6%	9,771 100.0%
合計	22,688 59.9%	14,438 38.1%	778 2.1%	37,904 100.0%

⑤遅いときは何時くらいまで見ていますか

p=0.000

	午後9時ぐ らまで	午後10時 ぐらい	午後11時 ぐらい	午後11時 以降	見ていない・ 無回答	合計
知性×調整	5,094 50.8%	2,999 29.9%	968 9.7%	164 1.6%	806 8.0%	10,031 100.0%
知性×積極	4,492 52.7%	2,356 27.6%	721 8.5%	118 1.4%	836 9.8%	8,523 100.0%
感性×積極	5,120 53.5%	2,615 27.3%	788 8.2%	138 1.4%	918 9.6%	9,579 100.0%
感性×調整	5,141 52.6%	2,787 28.5%	879 9.0%	118 1.2%	846 8.7%	9,771 100.0%
合計	19,847 52.4%	10,757 28.4%	3,356 8.9%	538 1.4%	3,406 9.0%	37,904 100.0%

※すべてクロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

2.4 小括

以上の結果と元森（2009）の結果とあわせて、就学前までのしかり方、しつけ、育児方針（意識・配慮）、教育行動（お手伝い・習い事）の各子ども観グループごとの差異を見たのが、表7である。（各行の項目は厳密には分けることが出来ないものであるが、ここでは便宜的に分析した順に分けて表示した。）

表7 子ども観の子育て方針・行動への影響（就学前まとめ）

	知性×調整	知性×積極	感性×積極	感性×調整
しかり方	有無を言わずしかる	有無を言わずしかる	コミュニケーションでわからせる	コミュニケーションでわからせる
育児方針(意識・配慮)	手薄	活発重視	すべてで配慮	衛星・健康重視
教育行動(幼児期)	家事手伝い	お手伝いより知育	コミュニケーション系お手伝いと情操教育	お手伝いも習い事もそこそこさせる
コミュニケーション	食事・風呂などで多い	全体的に少ない(読み聞かせ除く)	全体的に多い	一緒に過ごす
しつけ	熱心	そうでもない	そうでもない	熱心
テレビ	時間や内容にルーズ	時間や内容に厳しいが、コミュニケーションは少ない	時間や内容に厳しい	コミュニケーションをよくする

それによれば、4つのグループの特徴は次のようにまとめられる。

「知性×調整」は、「伝統的な」しつけには熱心で、それに関連した子どもとの関わりもあり、家事手伝いなどもさせるが、生活時間やテレビの時間などに注意する意識は薄く、コミュニケーションをとったり子育てで多くのことに配慮したりといった志向は希薄な傾向がある。

「知性×積極」は、しつけやお手伝いにもコミュニケーションにも重きを置かず、知育に熱心で、子どもが活発であることを望む傾向がある。生活時間等には気を配っている。

「感性×積極」は、いわゆるしつけには熱心でないように見えるが、子育て全般で意識が高く子どもに細かく配慮する傾向がある。また、コミュニケーションを重視しており、子どもの自発性を重視したり情操教育を重視したりする傾向もある。

「感性×調整」は、全般的にやや熱心という傾向が見られる。しつけもコミュニケーションも比較的重視し、衛星や健康面を中心に子どもに気を配り、子どもと一緒に何かをする時間も大切にする傾向がある。極端な傾向はないが、お手伝いや習い事もそれなりにさせる傾向がある。

このような傾向は、子ども観研究にひきつけた、「厳格主義」「業績主義」「児童中心主義」「童心主義」という各グループの性格づけを、さらに裏付けるものとなっている。

3.子ども観の子どもへの影響

3.1 しつけの習得

以上のような結果は、より直接的に、子どもの側にどのような影響を及ぼしているのだろうか。ここでは、しつけの習得、テレビやゲームの時間、睡眠時間、基本的な生活習慣、遊び、子の父母へのコミュニケーション、情動面や社会性の発達に関する項目の回答傾向の分析からこの問題を考えたい。

まず、2.1 で見た第4回問14「平成13年1/7月生まれのお子さんのしつけ状況をおたずねします」の「お子さんの状態」の回答傾向を見よう(表8)。それによれば、しつけをしているかどうかの傾向と、実際に子どもが身につけているかの傾向は、どうやら様子が異なっている。

表8 子ども観としつけの習得状況

	挨拶や返事などをする	食事の後自分の食器を台所に運ぶ	人の話は最後まで聞く	うそをつかない	遊具で遊ぶときに順番を守る	テレビやコンピュータゲームをする時間は決めている	おもちゃや絵本をこわさない	合計
知性×調整	9,132 84.8%	4,898 45.5%	4,925 45.8%	6,233 57.9%	7,363 68.4%	4,962 46.1%	6,942 64.5%	10,764 100.0%
知性×積極	7,581 82.8%	3,643 39.8%	4,183 45.7%	5,242 57.3%	6,274 68.6%	4,257 46.5%	5,808 63.5%	9,151 100.0%
感性×積極	8,521 83.3%	3,877 37.9%	4,708 46.0%	6,017 58.8%	7,153 69.9%	4,820 47.1%	6,650 65.0%	10,234 100.0%
感性×調整	8,854 84.6%	4,181 39.9%	4,640 44.3%	6,166 58.9%	7,279 69.5%	4,822 46.1%	6,733 64.3%	10,466 100.0%
合計	34,088 83.9%	16,599 40.9%	18,456 45.4%	23,658 58.2%	28,069 69.1%	18,861 46.4%	26,133 64.3%	40,615 100.0%

(つづき)

	遊んだ後の片付けをする	人の物と他人の物を区別する	人に乱暴しない	道路に出るときは必ず右左をみる	知らない人にはついて行かない	公共の場(バス・電車、病院等)では騒がない	合計
知性×調整	5,090 47.3%	7,849 72.9%	7,327 68.1%	4,538 42.2%	7,103 66.0%	5,420 50.4%	10,764 100.0%
知性×積極	3,991 43.6%	6,748 73.7%	6,160 67.3%	3,790 41.4%	5,900 64.5%	4,565 49.9%	9,151 100.0%
感性×積極	4,247 41.5%	7,694 75.2%	6,913 67.5%	4,229 41.3%	6,461 63.1%	4,936 48.2%	10,234 100.0%
感性×調整	4,592 43.9%	7,660 73.2%	7,204 68.8%	4,384 41.9%	6,753 64.5%	5,107 48.8%	10,466 100.0%
合計	17,920 44.1%	29,951 73.7%	27,604 68.0%	16,941 41.7%	26,217 64.6%	20,028 49.3%	40,615 100.0%

※「身につけている」の値

※クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

「知性×調整」で多いのは、「挨拶や返事などをする」「食事の後自分の食器を台所に運ぶ」「遊んだ後の片づけをする」といった伝統的なしつけ項目と、「知らない人にはついて行かない」であり、力を入れてしつけた結果、子どもも行動を身につけたことがうかがえる。「感性×調整」も、「挨拶や返事などをする」「人に乱暴しない」というしつけをしていた項目がより身につけている。また、「知性×積極」は、全体的にしつけが身につけている率が少なめになっている。これらは、親の側のしつけへの取り組みに対応した結果である。

それに対して、興味深いのが、「感性×積極」の結果である。「遊具で遊ぶときに順番を守る」「人のものと他人のものを区別する」という、「しつけをした/している」では他の

グループよりも低かった項目の値が比較的高めになっているのである。自発性を重視し、悪いことをしたらコミュニケーションでわからせるタイプのグループであるから、「しつけ」と称して特別なことをしなくとも、子どもはマナーや生活習慣を身につけるのかもしれない。育児において細心の注意を払っているわりに比較的しつけに熱心でないように見えた「感性×積極」グループであるが、しつけにおいても、結果はある程度出していると言える。

3.2 テレビとゲームの時間

テレビ（ビデオ・DVD含む）の視聴時間に関する第3回～第6回の設問（第3回問8補問2、「第4回問7補問1、第5回問5、第6回問8」と、コンピュータゲーム（テレビゲーム、パソコンゲーム、携帯型ゲームなど）で遊ぶ時間に関する第4回～第6回の設問（第4回問7補問2、第5回問6、第6回問8）の回答傾向を表したのが、表9および表10である。結果はかなり一貫している。

テレビについては、「知性×調整」は、どの調査においても長めの時間の選択率が高く、「見ていない」が低くなっている。「知性×積極」と「感性×積極」は、「見ていない」や短めの時間の選択率が高い回が多い。「感性×調整」は、特段の特徴の見られない第6回を除いて、「2～3時間未満」や「3～4時間未満」などの中間的な時間の選択率が高く、そこそこの時間見る傾向があるようである。

コンピュータゲームでは、「知性×調整」は、どの調査においても「していない」が低く、「1～2時間未満」やる傾向が高めとなっている（第6回では元の値が小さいながら、「3～4時間未満」も選択率が高めになっている）。「感性×積極」は、常に「していない」が高く、「1時間未満」や「1～2時間未満」も選択率が低くなっている。「感性×調整」は、第4回のみ「していない」の率が高くなっている。

2.3の結果と比較すれば、テレビを見る時間にルーズな傾向のある「知性×調整」は、実際にテレビとゲームの時間が長くなっており、時間や内容に厳しい「知性×積極」は、テレビについて、「感性×積極」は、テレビもゲームも時間が短くなっている。時間や内容よりコミュニケーションを重視する「感性×調整」は、テレビはそれなりに見るが、ゲームは3歳半のときのみしていない傾向が見られる。

いずれにしても、子どもの年齢を考えれば、親の方針が子どもの行動に直結すると考えられ、テレビに関する方針がそのまま子どものテレビやゲームへのアクセスに影響していることが見てとれる。

表9 子ども観と子どものテレビの視聴時間

①第3回調査

p=0.000

	見ていない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5時間以上	わからない	不詳	合計
知性×調整	86 0.8%	970 8.5%	4,063 35.7%	1,546 13.6%	3,203 28.2%	698 6.1%	513 4.5%	222 2.0%	76 0.7%	11,377 100.0%
知性×積極	101 1.0%	972 10.0%	3,533 36.5%	1,341 13.9%	2,611 27.0%	489 5.1%	378 3.9%	175 1.8%	81 0.8%	9,681 100.0%
感性×積極	131 1.2%	1,021 9.5%	4,101 38.0%	1,456 13.5%	2,937 27.2%	559 5.2%	385 3.6%	139 1.3%	60 0.6%	10,789 100.0%
感性×調整	90 0.8%	976 8.9%	3,916 35.7%	1,600 14.6%	3,075 28.1%	644 5.9%	423 3.9%	184 1.7%	54 0.5%	10,962 100.0%
合計	408 1.0%	3,939 9.2%	15,613 36.5%	5,943 13.9%	11,826 27.6%	2,390 5.6%	1,699 4.0%	720 1.7%	271 0.6%	42,809 100.0%

②第4回調査

p=0.000

	見ていない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5時間以上	わからない	不詳	合計
知性×調整	67 0.6%	847 7.9%	4,085 38.0%	1,510 14.0%	3,178 29.5%	590 5.5%	362 3.4%	68 0.6%	57 0.5%	10,764 100.0%
知性×積極	135 1.5%	841 9.2%	3,702 40.5%	1,267 13.8%	2,415 26.4%	394 4.3%	277 3.0%	60 0.7%	60 0.7%	9,151 100.0%
感性×積極	147 1.4%	929 9.1%	4,176 40.8%	1,442 14.1%	2,707 26.5%	465 4.5%	275 2.7%	34 0.3%	59 0.6%	10,234 100.0%
感性×調整	91 0.9%	854 8.2%	4,032 38.5%	1,591 15.2%	2,956 28.2%	534 5.1%	299 2.9%	59 0.6%	50 0.5%	10,466 100.0%
合計	440 1.1%	3,471 8.5%	15,995 39.4%	5,810 14.3%	11,256 27.7%	1,983 4.9%	1,213 3.0%	221 0.5%	226 0.6%	40,615 100.0%

③第5回調査

p=0.000

	見ていない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5時間以上	わからない	不詳	合計
知性×調整	57 0.5%	972 9.4%	2,918 28.1%	3,699 35.6%	1,779 17.1%	582 5.6%	241 2.3%	78 0.8%	66 0.6%	10,392 100.0%
知性×積極	111 1.3%	1,039 11.7%	2,725 30.8%	2,903 32.8%	1,351 15.3%	415 4.7%	170 1.9%	63 0.7%	69 0.8%	8,846 100.0%
感性×積極	119 1.2%	1,187 12.0%	3,058 30.9%	3,448 34.8%	1,393 14.1%	425 4.3%	149 1.5%	65 0.7%	64 0.6%	9,908 100.0%
感性×調整	63 0.6%	994 9.9%	2,949 29.3%	3,588 35.6%	1,652 16.4%	528 5.2%	183 1.8%	59 0.6%	50 0.5%	10,066 100.0%
合計	350 0.9%	4,192 10.7%	11,650 29.7%	13,638 34.8%	6,175 15.7%	1,950 5.0%	743 1.9%	265 0.7%	249 0.6%	39,212 100.0%

④第6回調査

p=0.000

	見ていない	1時間未満	1~2時間未満	2~3時間未満	3~4時間未満	4~5時間未満	5時間以上	不詳	合計
知性×調整	68 0.7%	1,441 14.4%	3,854 38.4%	3,006 29.9%	1,149 11.4%	362 3.6%	128 1.3%	30 0.3%	10,038 100.0%
知性×積極	126 1.5%	1,491 17.4%	3,449 40.4%	2,233 26.1%	838 9.8%	281 3.3%	86 1.0%	43 0.5%	8,547 100.0%
感性×積極	122 1.3%	1,682 17.5%	3,912 40.7%	2,605 27.1%	915 9.5%	244 2.5%	82 0.9%	47 0.5%	9,609 100.0%
感性×調整	105 1.1%	1,423 14.5%	3,948 40.3%	2,808 28.7%	1,066 10.9%	311 3.2%	89 0.9%	38 0.4%	9,788 100.0%
合計	421 1.1%	6,037 15.9%	15,163 39.9%	10,652 28.0%	3,968 10.4%	1,198 3.2%	385 1.0%	158 0.4%	37,982 100.0%

※すべて、クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

表 10 子ども観と子どものコンピュータゲームの時間

①第4回調査

p=0.001

	してい ない	1時間未 満	1~2時間 未満	2~3時間 未満	3時間以 上	わから ない	不詳	合計
知性×調整	9,042 84.0%	1,140 10.6%	428 4.0%	50 0.5%	31 0.3%	20 0.2%	53 0.5%	10,764 100.0%
知性×積極	7,725 84.4%	934 10.2%	336 3.7%	53 0.6%	29 0.3%	32 0.3%	42 0.5%	9,151 100.0%
感性×積極	8,802 86.0%	974 9.5%	329 3.2%	50 0.5%	23 0.2%	15 0.1%	41 0.4%	10,234 100.0%
感性×調整	8,965 85.7%	1,039 9.9%	341 3.3%	44 0.4%	24 0.2%	14 0.1%	39 0.4%	10,466 100.0%
合計	34,534 85.0%	4,087 10.1%	1,434 3.5%	197 0.5%	107 0.3%	81 0.2%	175 0.4%	40,615 100.0%

②第5回調査

p=0.000

	してい ない	1時間未 満	1~2時間 未満	2~3時間 未満	3時間以 上	わから ない	不詳	合計
知性×調整	7,268 69.9%	2,242 21.6%	684 6.6%	88 0.8%	32 0.3%	41 0.4%	37 0.4%	10,392 100.0%
知性×積極	6,351 71.8%	1,789 20.2%	513 5.8%	78 0.9%	33 0.4%	34 0.4%	48 0.5%	8,846 100.0%
感性×積極	7,293 73.6%	1,934 19.5%	519 5.2%	71 0.7%	28 0.3%	23 0.2%	40 0.4%	9,908 100.0%
感性×調整	7,236 71.9%	2,108 20.9%	558 5.5%	83 0.8%	27 0.3%	23 0.2%	31 0.3%	10,066 100.0%
合計	28,148 71.8%	8,073 20.6%	2,274 5.8%	320 0.8%	120 0.3%	121 0.3%	156 0.4%	39,212 100.0%

③第6回調査

p=0.000

	してい ない	1時間未 満	1~2時間 未満	2~3時間 未満	3時間以 上	不詳	合計
知性×調整	5,755 57.3%	3,099 30.9%	941 9.4%	118 1.2%	41 0.4%	84 0.8%	10,038 100.0%
知性×積極	5,128 60.0%	2,461 28.8%	745 8.7%	111 1.3%	20 0.2%	82 1.0%	8,547 100.0%
感性×積極	6,003 62.5%	2,728 28.4%	689 7.2%	92 1.0%	21 0.2%	76 0.8%	9,609 100.0%
感性×調整	5,894 60.2%	2,873 29.4%	821 8.4%	111 1.1%	24 0.2%	65 0.7%	9,788 100.0%
合計	22,780 60.0%	11,161 29.4%	3,196 8.4%	432 1.1%	106 0.3%	307 0.8%	37,982 100.0%

※すべて、クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

3.3 睡眠

起床と就寝に関する第2回から第6回の質問項目の回答傾向を示したのが、表11である。
 (ただし、第2回は起床時間なし。また、第5回は選択式ではないので割愛。) テレビとは異なり、こちらは調査年次の経過とともに若干の変化が見られる。

「知性×調整」は、低い年齢では、就寝時間は、第2回で「午後7時前」、第3回で「午後8時台」が多く、第4回では最頻値の「午後9時台」が少なく「午後8時台」が多いなど早い時間が多いほか、「不規則である」が他のグループより多く、早寝と不規則が他のグループより多い傾向が見られた。それが、第6回調査では、「午後10時台」の遅寝と「不規則である」が多くなっている。起床時間は、第3回第4回とも「不規則である」が多く、第6回では、最頻値の「午後7時台」が少なくなっている。全体的に早すぎるか不規則かであったのが、不規則または遅寝とより望ましくない方向へと推移していると言える。

表11 子ども観と子どもの起床・就寝の時間

①第2回 就寝時間

p=0.000

	午後7時前	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	29 0.3%	167 1.5%	1,668 15.1%	4,517 40.9%	2,924 26.5%	1,049 9.5%	492 4.5%	195 1.8%	11,041 100.0%
知性×積極	16 0.2%	156 1.7%	1,460 15.5%	3,899 41.5%	2,376 25.3%	949 10.1%	349 3.7%	193 2.1%	9,398 100.0%
感性×積極	14 0.1%	155 1.5%	1,551 14.8%	4,396 41.8%	2,774 26.4%	1,109 10.6%	331 3.1%	181 1.7%	10,511 100.0%
感性×調整	17 0.2%	148 1.4%	1,539 14.4%	4,303 40.2%	2,989 27.9%	1,131 10.6%	416 3.9%	169 1.6%	10,712 100.0%
合計	76 0.2%	626 1.5%	6,218 14.9%	17,115 41.1%	11,063 26.6%	4,238 10.2%	1,588 3.8%	738 1.8%	41,662 100.0%

②第3回 起床時間

p=0.000

	午前6時前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	158 1.4%	2,084 18.3%	5,343 47.0%	2,456 21.6%	758 6.7%	181 1.6%	349 3.1%	48 0.4%	11,377 100.0%
知性×積極	152 1.6%	1,797 18.6%	4,526 46.8%	2,108 21.8%	613 6.3%	183 1.9%	254 2.6%	48 0.5%	9,681 100.0%
感性×積極	122 1.1%	1,924 17.8%	5,031 46.6%	2,490 23.1%	743 6.9%	173 1.6%	259 2.4%	47 0.4%	10,789 100.0%
感性×調整	133 1.2%	1,926 17.6%	4,985 45.5%	2,631 24.0%	763 7.0%	202 1.8%	280 2.6%	42 0.4%	10,962 100.0%
合計	565 1.3%	7,731 18.1%	19,885 46.5%	9,685 22.6%	2,877 6.7%	739 1.7%	1,142 2.7%	185 0.4%	42,809 100.0%

③第3回 就寝時間

p=0.000

	午後7時前	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	23 0.2%	134 1.2%	1,242 10.9%	4,462 39.2%	3,567 31.4%	1,304 11.5%	570 5.0%	75 0.7%	11,377 100.0%
知性×積極	21 0.2%	107 1.1%	1,020 10.5%	3,852 39.8%	3,034 31.3%	1,123 11.6%	448 4.6%	76 0.8%	9,681 100.0%
感性×積極	16 0.1%	124 1.1%	1,069 9.9%	4,311 40.0%	3,387 31.4%	1,382 12.8%	424 3.9%	76 0.7%	10,789 100.0%
感性×調整	16 0.1%	118 1.1%	1,129 10.3%	4,139 37.8%	3,638 33.2%	1,364 12.4%	488 4.5%	70 0.6%	10,962 100.0%
合計	76 0.2%	483 1.1%	4,460 10.4%	16,764 39.2%	13,626 31.8%	5,173 12.1%	1,930 4.5%	297 0.7%	42,809 100.0%

※すべて、クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

(表11のつづき)

④第4回 起床時間

p=0.000

	午前6時前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	175 1.6%	2,389 22.2%	5,561 51.7%	1,940 18.0%	463 4.3%	230 2.1%	6 0.1%	10,764 100.0%
知性×積極	158 1.7%	2,076 22.7%	4,802 52.5%	1,571 17.2%	375 4.1%	158 1.7%	11 0.1%	9,151 100.0%
感性×積極	160 1.6%	2,227 21.8%	5,407 52.8%	1,882 18.4%	400 3.9%	148 1.4%	10 0.1%	10,234 100.0%
感性×調整	144 1.4%	2,189 20.9%	5,398 51.6%	2,045 19.5%	486 4.6%	196 1.9%	8 0.1%	10,466 100.0%
合計	637 1.6%	8,881 21.9%	21,168 52.1%	7,438 18.3%	1,724 4.2%	732 1.8%	35 0.1%	40,615 100.0%

⑤第4回 就寝時間

p=0.001

	午後8時前	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	213 2.0%	1,539 14.3%	4,627 43.0%	3,195 29.7%	812 7.5%	359 3.3%	19 0.2%	10,764 100.0%
知性×積極	179 2.0%	1,285 14.0%	4,044 44.2%	2,698 29.5%	663 7.2%	258 2.8%	24 0.3%	9,151 100.0%
感性×積極	234 2.3%	1,444 14.1%	4,599 44.9%	2,983 29.1%	707 6.9%	246 2.4%	21 0.2%	10,234 100.0%
感性×調整	219 2.1%	1,345 12.9%	4,598 43.9%	3,161 30.2%	813 7.8%	307 2.9%	23 0.2%	10,466 100.0%
合計	845 2.1%	5,613 13.8%	17,868 44.0%	12,037 29.6%	2,995 7.4%	1,170 2.9%	87 0.2%	40,615 100.0%

⑥第6回 起床時間(ふだんの日)

p=0.063

	午前6時前	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時以降	不規則	不詳	合計
知性×調整	156 1.6%	2,868 28.6%	6,086 60.6%	847 8.4%	23 0.2%	23 0.2%	35 0.3%	10,038 100.0%
知性×積極	135 1.6%	2,392 28.0%	5,201 60.9%	761 8.9%	11 0.1%	20 0.2%	27 0.3%	8,547 100.0%
感性×積極	152 1.6%	2,696 28.1%	5,956 62.0%	755 7.9%	16 0.2%	12 0.1%	22 0.2%	9,609 100.0%
感性×調整	143 1.5%	2,684 27.4%	6,102 62.3%	815 8.3%	13 0.1%	13 0.1%	18 0.2%	9,788 100.0%
合計	586 1.5%	10,640 28.0%	23,345 61.5%	3,178 8.4%	63 0.2%	68 0.2%	102 0.3%	37,982 100.0%

⑦第6回 就寝時間(ふだんの日)

p=0.000

	午後8時前	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時以降	不規則である	不詳	合計
知性×調整	210 2.1%	1,896 18.9%	5,495 54.7%	2,048 20.4%	233 2.3%	97 1.0%	59 0.6%	10,038 100.0%
知性×積極	176 2.1%	1,734 20.3%	4,654 54.5%	1,664 19.5%	188 2.2%	70 0.8%	61 0.7%	8,547 100.0%
感性×積極	214 2.2%	1,999 20.8%	5,363 55.8%	1,732 18.0%	201 2.1%	48 0.5%	52 0.5%	9,609 100.0%
感性×調整	197 2.0%	1,919 19.6%	5,477 56.0%	1,895 19.4%	182 1.9%	66 0.7%	52 0.5%	9,788 100.0%
合計	797 2.1%	7,548 19.9%	20,989 55.3%	7,339 19.3%	804 2.1%	281 0.7%	224 0.6%	37,982 100.0%

※すべて、クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

「知性×積極」は、説明できない推移を見せる。就寝時間は「午後 10 時台」が少なく、遅寝が少ない傾向があるが、その後は平均的な値を示している。起床時間は、第 3 回では「午前 6 時台」が多く、第 4 回では「午前 6 時台」が多く「午前 8 時台」が少ないなど、早起き傾向が見られたが、第 6 回で「午前 8 時台」が多くなり、他のグループより遅起きの傾向が見られるようになる。早寝早起きから平均的であったのが、遅起きへと変化しているのである。第 6 回は幼稚園や保育園の時間の影響も大きく、今後の推移を見守る必要があるだろう。

「感性×積極」は、就寝時間は、第 2 回は「不規則である」が少なく、その後平均的な値を示し、第 6 回では「午後 8 時台」が多く「午後 10 時台」が少ないなど、早寝の傾向を示す。起床時間は、第 3 回では「午前 6 時前」と「不規則である」が少なく、第 4 回では「午前 9 時以降」と「不規則である」が少ない。第 6 回では「午前 8 時台」が少なく、どちらかと言えば早い時間の選択肢が多く選ばれている。全体的には、不規則でなく早寝、極端な遅寝や早寝ではないがやや早めの就寝といったところであろう。

「感性×調整」は、就寝時間は、第 2 回第 3 回で「午後 10 時台」が多めで、最頻値の「午後 9 時台が少なく」と遅寝の傾向が見られるが、後は、第 4 回では「午後 8 時台」が少なく、第 6 回で「午後 11 時以降」が少ないなどの傾向が見られる程度である。起床時間は、第 3 回で「午前 8 時台」が多めで最頻値の「午前 9 時台」が少ない、第 4 回でも「午前 8 時台」と「午前 9 時以降」が多く「午前 6 時台」が少ないと、遅起きの傾向が見られるが、第 6 回では最頻値の「午前 7 時台」が他のグループより多くなっており、適当な時間に起きる傾向が見てとれる。

全体として、他のグループに比べて目立つ特徴とその変化をまとめると次のようになる。 「知性×調整」は、極端な早寝早起きか不規則かから遅寝や不規則へ。「知性×積極」は、早寝早起きから遅起き傾向か。「感性×積極」は、不規則が少なくやや早寝早起き。「感性×調整」は、遅寝遅起きから適当な時間の就寝起床へ。

第 1 回問 9 の「子育てで意識して行っていること」で「子どもの生活のリズムを崩さない」を選んでいる率は、「感性×積極」「知性×積極」「感性×調整」「知性×調整」の順となっているが(元森 2009)、睡眠のリズムについてもこれを反映した結果となっていると言えるのではなかろうか。

3.4 基本的な生活習慣

第 5 回問 4 補問 3 の(4)では、「その他の生活の状況についておたずねします。それぞれ当てはまる番号ひとつに○をつけてください」として、幼児期に身につけるべき基本的な生活習慣の獲得を尋ねている。その結果のグループごとの回答傾向を示したのが表 12 である。

「知性×調整」は、「①日常のあいさつ」「②着替え」「③はみがき」において、「自分からする」の選択率が高く、基本的なしつけを重視する傾向を反映しているかもしれない。

表 12 子ども観と基本的な生活習慣の獲得状況

①日常のあいさつ

p=0.000

	自分から する	言われ ばする	しない	不詳	合計
知性×調整	6,759 65.0%	3,534 34.0%	68 0.7%	31 0.3%	10,392 100.0%
知性×積極	5,536 62.6%	3,177 35.9%	104 1.2%	29 0.3%	8,846 100.0%
感性×積極	6,243 63.0%	3,541 35.7%	93 0.9%	31 0.3%	9,908 100.0%
感性×調整	6,431 63.9%	3,540 35.2%	76 0.8%	19 0.2%	10,066 100.0%
合計	24,969 63.7%	13,792 35.2%	341 0.9%	110 0.3%	39,212 100.0%

②着替え

p=0.000

	自分から する	言われ ば自分で する	自分で しない	不詳	合計
知性×調整	5,181 49.9%	4,957 47.7%	227 2.2%	27 0.3%	10,392 100.0%
知性×積極	4,246 48.0%	4,329 48.9%	248 2.8%	23 0.3%	8,846 100.0%
感性×積極	4,555 46.0%	5,070 51.2%	255 2.6%	28 0.3%	9,908 100.0%
感性×調整	4,694 46.6%	5,099 50.7%	252 2.5%	21 0.2%	10,066 100.0%
合計	18,676 47.6%	19,455 49.6%	982 2.5%	99 0.3%	39,212 100.0%

③はみがき

p=0.000

	自分から する	言われ ば自分で する	自分で しない	不詳	合計
知性×調整	3,034 29.2%	6,827 65.7%	496 4.8%	35 0.3%	10,392 100.0%
知性×積極	2,517 28.5%	5,699 64.4%	606 6.9%	24 0.3%	8,846 100.0%
感性×積極	2,593 26.2%	6,671 67.3%	617 6.2%	27 0.3%	9,908 100.0%
感性×調整	2,755 27.4%	6,743 67.0%	548 5.4%	20 0.2%	10,066 100.0%
合計	10,899 27.8%	25,940 66.2%	2,267 5.8%	106 0.3%	39,212 100.0%

④排尿

p=0.056

	ひとりで できる	手助けが 必要	不詳	合計
知性×調整	10,053 96.7%	318 3.1%	21 0.2%	10,392 100.0%
知性×積極	8,498 96.1%	325 3.7%	23 0.3%	8,846 100.0%
感性×積極	9,552 96.4%	327 3.3%	29 0.3%	9,908 100.0%
感性×調整	9,746 96.8%	303 3.0%	17 0.2%	10,066 100.0%
合計	37,849 96.5%	1,273 3.2%	90 0.2%	39,212 100.0%

⑤排便

p=0.524

	ひとりで できる	手助けが 必要	不詳	合計
知性×調整	7,323 70.5%	3,044 29.3%	25 0.2%	10,392 100.0%
知性×積極	6,184 69.9%	2,633 29.8%	29 0.3%	8,846 100.0%
感性×積極	6,926 69.9%	2,949 29.8%	33 0.3%	9,908 100.0%
感性×調整	7,041 69.9%	3,004 29.8%	21 0.2%	10,066 100.0%
合計	27,474 70.1%	11,630 29.7%	108 0.3%	39,212 100.0%

※すべてクロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

逆に「知性×積極」は、同じ3項目で「自分でしない」が多く、「④排尿」でも「手助けが必要」が他のグループより高く、やや身についてない傾向が見られる。「感性×積極」も、「②着替え」で「言われれば自分です」、「③はみがき」で「自分でしない」が多い。基本的なしつけを重視しない2グループの態度が反映されている。なお、「感性×調整」は、「③はみがき」で「言われれば自分です」が多い以外は特徴は見られない。

3.5 遊びと遊び場

遊びについて、第2回問6(2)「どんな遊びが多いですか。主な番号3つまでに○をつけてください」、第3回問8(1)「お子さんはふだんどのような遊びが多いですか」の回答傾向を示したのが表13である。第2回と第3回で変化が見られる。

「知性×調整」は、第2回では、「積み木・ブロック」「人形・ぬいぐるみ」「ままごと」の比較的伝統的な遊びと「ビデオ・テレビ」で他のグループより選択率が高い傾向が見られたが、第3回では、「積み木・ブロック・粘土」「乗り物のおもちゃ」「絵本・お話」「歌・踊り」「パズル」「砂遊び・水遊び」「戸外の遊具」「おにごっこ、かくれんぼ」「その他」と多くの項目で選択率が低めになっている。このグループは、伝統的なしつけは重視する一方、テレビに関するしつけはルーズであったので(2.3)、当初はその傾向が現れているのかもしれない。また、第5回問4「遊びについて意識していること」ですべての項目で最も選択率が低かったことが、第3回(2歳半時)の結果に現れていると言える。

「知性×積極」は、第2回で「三輪車などの乗り物」と「お散歩」が選択率が高めで、「ビデオ・テレビ」「歌・踊り」が低い。第3回では、「乗り物のおもちゃ」「パズル」「その他」が高めで、「人形・ロボット」「お絵かき」「歌・踊り」「テレビ」が低めである。活発さを重視し、情操教育には熱心でない傾向や、テレビ視聴を管理する傾向を反映していると言えよう。

「感性×積極」は、第2回で、「絵本・お話」「砂遊び・水遊び」「滑り台など戸外の遊具」「お散歩」「子ども向けのプレイルーム」の選択率が高めで、「人形・ぬいぐるみ」「お絵かき」「ビデオ・テレビ」「ボール遊び」「三輪車などの乗り物」が低めである。道具を使うものは好まない代わりに、情操に役立つ遊びや、自然の中、外での遊びが目立つほか、公共施設の利用も頻繁である。第3回では、他のグループより選択率の低い項目はなく、「積み木・ブロック・粘土」「乗り物のおもちゃ」「絵本・お話」「歌・踊り」「砂遊び・水遊び」「戸外の遊具」「三輪車などの乗り物」「おにごっこ、かくれんぼ」と多くの項目で選択率が高い。遊びについて親が最も熱心なのがこのグループであるが、その傾向が現れている。

「感性×調整」は、第2回では「ビデオ・テレビ」の選択率が他より高い以外は際立った特徴がないが、第3回では、「人形・ロボット」「お絵かき」「絵本・お話」「歌・踊り」「テレビ」「犬や猫などペットと遊ぶ」で選択率が高い。このグループの情操教育を重視する傾向や、他者とのふれあいを重視する傾向を反映している。

総じて、第2回より第3回になるにいたって、子どもの遊びにも各グループの親の意識や方針に沿った特徴が現れていることがわかる。

表 13 子ども観と遊び

第2回

	積み木・ブロック	人形・ぬいぐるみ	ままごと	お絵かき	絵本・お話	ビデオ・テレビ	歌・踊り	砂遊び・水遊び	合計
知性×調整	3,650 33.1%	2,186 19.8%	1,372 12.4%	2,139 19.4%	3,840 34.8%	5,752 52.1%	3,144 28.5%	2,988 27.1%	11,041 100.0%
知性×積極	3,053 32.5%	1,712 18.2%	1,068 11.4%	1,759 18.7%	3,385 36.0%	4,593 48.9%	2,619 27.9%	2,741 29.2%	9,398 100.0%
感性×積極	3,302 31.4%	1,789 17.0%	1,210 11.5%	1,901 18.1%	3,941 37.5%	5,175 49.2%	3,059 29.1%	3,193 30.4%	10,511 100.0%
感性×調整	3,399 31.7%	2,007 18.7%	1,255 11.7%	2,058 19.2%	3,886 36.3%	5,594 52.2%	3,149 29.4%	3,066 28.6%	10,712 100.0%
合計	13,404 32.2%	7,694 18.5%	4,905 11.8%	7,857 18.9%	15,052 36.1%	21,114 50.7%	11,971 28.7%	11,988 28.8%	41,662 100.0%

(つづき)

	すべり台など戸外の遊具	ボール遊び	三輪車などの乗り物	お散歩	子ども向けのプレイルーム	その他	合計
知性×調整	2,404 21.8%	2,683 24.3%	1,872 17.0%	3,029 27.4%	492 4.5%	838 7.6%	11,041 100.0%
知性×積極	2,210 23.5%	2,161 23.0%	1,657 17.6%	2,842 30.2%	485 5.2%	810 8.6%	9,398 100.0%
感性×積極	2,632 25.0%	2,270 21.6%	1,670 15.9%	3,148 29.9%	583 5.5%	831 7.9%	10,511 100.0%
感性×調整	2,489 23.2%	2,416 22.6%	1,797 16.8%	3,048 28.5%	565 5.3%	821 7.7%	10,712 100.0%
合計	9,735 23.4%	9,530 22.9%	6,996 16.8%	12,067 29.0%	2,125 5.1%	3,300 7.9%	41,662 100.0%

※クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。

第3回

	積み木・ブロック・粘土	人形・ロボット	乗り物のおもちゃ	ごっこ遊び	お絵かき	絵本・お話	歌・踊り	パズル	テレビ	合計
知性×調整	7,044 61.9%	5,038 44.3%	5,806 51.0%	6,406 56.3%	7,335 64.5%	7,092 62.3%	7,246 63.7%	2,531 22.2%	9,646 84.8%	11,377 100.0%
知性×積極	6,125 63.3%	4,131 42.7%	5,255 54.3%	5,431 56.1%	6,044 62.4%	6,210 64.1%	6,212 64.2%	2,383 24.6%	8,141 84.1%	9,681 100.0%
感性×積極	6,960 64.5%	4,667 43.3%	5,982 55.4%	6,219 57.6%	6,919 64.1%	7,162 66.4%	7,140 66.2%	2,612 24.2%	9,091 84.3%	10,789 100.0%
感性×調整	6,930 63.2%	5,014 45.7%	5,708 52.1%	6,309 57.6%	7,230 66.0%	7,196 65.6%	7,245 66.1%	2,588 23.6%	9,416 85.9%	10,962 100.0%
合計	27,059 63.2%	18,850 44.0%	22,751 53.1%	24,365 56.9%	27,528 64.3%	27,660 64.6%	27,843 65.0%	10,114 23.6%	36,294 84.8%	42,809 100.0%

(つづき)

	砂遊び・水遊び	戸外の遊具	ボール遊び	三輪車などの乗り物	おにごっこ、かくれんぼ	犬や猫などペットと遊ぶ	その他	不詳	合計
知性×調整	5,799 51.0%	6,625 58.2%	5,491 48.3%	5,318 46.7%	1,799 15.8%	888 7.8%	529 4.6%	35 0.3%	11,377 100.0%
知性×積極	5,252 54.3%	5,991 61.9%	4,617 47.7%	4,539 46.9%	1,667 17.2%	764 7.9%	525 5.4%	41 0.4%	9,681 100.0%
感性×積極	6,235 57.8%	6,955 64.5%	5,160 47.8%	5,196 48.2%	1,890 17.5%	883 8.2%	573 5.3%	39 0.4%	10,789 100.0%
感性×調整	6,037 55.1%	6,746 61.5%	5,243 47.8%	5,179 47.2%	1,874 17.1%	943 8.6%	523 4.8%	29 0.3%	10,962 100.0%
合計	23,323 54.5%	26,317 61.5%	20,511 47.9%	20,232 47.3%	7,230 16.9%	3,478 8.1%	2,150 5.0%	144 0.3%	42,809 100.0%

※クロス表において、残差が+1.97以上のものを太字、-1.97以下のものを下線とした。